

平成22年度町政執行方針

工藤昇町長の3期目における町政執行に対する基本理念並びに基本姿勢と施策の方針について申し上げ、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



町政執行にあたり

私は、去る5月18日に告示されました、上ノ国町長選挙において、浅学非才の身をも顧みず、3度目の立候補をさせていただきましたところ、町民皆様には現下の厳しい社会情勢を鑑みられ、無投票という身に余る特段のご支持を賜り、悠久の歴史と伝統に輝く上ノ国町の町長として、引き続き町政を担わせていただくことになりました。

3期目の町政執行に当たりましては、この町民皆さまから賜りましたご支持を、私に対する強い叱咤激励

と真摯に受けとめ、今後における町政推進の基本的な理念を「安全と安心、自立と自律、協働と参画」として掲げるとともに、「輝くまちわたしたちの上ノ国」という将来像を目指して、激動する社会の荒波に柔軟かつ迅速に対応可能な確かなまちづくりのため、全身全霊をもって取り組んで参る決意であります。

さて、私は平成14年に、町民皆様の特段のご意志によりまして、町政を担わせていただくことになりましたから今日まで、私の持てる全力をあげて町政推進に取り組んで参りました。

光陰矢のごとし早くも2期8年が過ぎ去ったところではありますが、この間、皆様から賜りましたご支持と私に対する強い叱咤激励に改めて衷心より厚くお礼を申し上げます。

就任時はバブル経済がはじけ、国及び北海道、そして本町を含めた行政の膨大な借金体質、さらには地方分権推進などに起因する市町村合併問題など、時代は次から次へと困難な問題が吹き出るといふ状況にあ

※内容の一部を要約して掲載しています。

り、全国の自治体を通じてほとんど例外なく陥ることになりました厳しい社会経済情勢下にあつて、本町は百億を超える膨大な借金を抱え、町の台所は民間企業であれば破産あるいは倒産と変わらぬ状況でございます。

加えて、平成20年からは食の安全問題や押し寄せる世界規模での金融危機の大波などにより、世界的規模での同時不況の深刻な様相を呈し、我が国においても例外ではなく、時代は今、なによりもまず、厳しい社会経済環境を立て直し、雇用の場を創り出す、ということが緊急の課題

となっております。

こうした国全体を通じた厳しい状況の中で、私は町長就任以来、一貫して私自身の基本姿勢として、わたしたち町民一人ひとりが現状を自覚し、そして一人ひとりがこの町を変えたいという意思を表してくれるということを確信して、町政を執行して参りました。

上ノ国町の基本的な課題は、何よりもまず、国全体の深刻な環境を受け、厳しい行財政運営を余儀なくされている現状をどう乗り越え、閉塞状況に陥っている町の社会経済にどう突破口を見いだすか、そして予測されない様々な変化に柔軟な対応が可能となる足腰の強い町をどう創り上げるかということでありました。

このため、緊急の重要課題として中期的な展望に立った行政施策の樹立推進が必要と判断し、平成17年度を初年度とする5年間の自立プランを策定して、逼迫する財政の現状や目指すまちづくりのための施策について、町民皆様に公表するとともに、皆様が共通の認識に立っていただくよう訴えお願いをし、改革を断行して参りました。

町民の皆さんには、自らの痛みを伴う見直しにもかかわらず、特段のご理解とご配慮、ご協力をいただき、おかげさまでマスコミ報道されましてとおり、平成20年度の決算において、全道179市町村の中で、財政

